

ロング・ライフ だより

第 58 号
○ 発 行 所 ○
社会福祉法人ライフ・タイム・福島
特別養護老人ホームロング・ライフ
◎ 発 行 人 ◎
広 報 委 員 会
〒960-1241
福島市松川町字産子内1番地の1
TEL 024-567-5800

第3回松川地域徘徊模擬訓練 3地区合同で開催致しました



ライフ・タイム・福島 事務局長
松川地域ネットワーク委員会 会長

森 重勝

第三回松川地域
徘徊模擬訓練を開催して

今年も恒例の、松川地域における徘徊模擬訓練を、例年通りの十月第一日曜日に開催致しました。

今年の実施地区は、昨年より一カ所増やし、美郷地区、石合地区、下川崎地区で行い、参加者数は、二百三十人が参加されました。訓練も三回目となり、地域毎に特性があり、声かけ訓練、通報訓練を行いました。

天候に恵まれ、反省会も例年通り、高齢者複合施設『リブレ松川』にて行い、感想やご意見を多く頂きました。今後の訓練の参考とさせて頂きたいと思えます。

反省会後は、軽食などを囲んで、お互いにコミュニケーションを図り、楽しく終了することが出来ました。

来年も宜しくお願い致します。

松川地域
安心・安全ネットワーク委員会

今年も10月2日に松川地域にて、第3回目の徘徊模擬訓練を行いました。

今年、美郷・石合に下川崎を加え3か所の地域で行いました。

下川崎地区での参加者が約130名位で美郷地区と石合地区の参加者も合わせると約240名の参加があり、盛大に訓練を行うことができました。

当日は、福島市の地域包括支援センターや他の地域からの視察の方も増え、松川の取り組みが周知されてきていると感じました。

この徘徊模擬訓練の趣旨は、訓練を行うことではなく訓練を行うことで地域の住民同士が顔の見える関係づくりができ連携の取れる町を作っていくことです。そのツールとして訓練を行っています。毎年、この訓練を行っていくことで地域の特性も見えてきますが、地域の住民同士のつながりの強さを感じます。

地域住民が自分達で知恵を出し、今年はどうのように行ったら良いかを考え、それぞれやり方で実施、次年度に繋げていこうと頑張っています。回を重ねていくことで地域の力の強さを感じています。地域の力が今よりももっと力強いものになるようサポートし、次年度に繋げていきたいと思えます。



第3回松川地域徘徊模擬訓練



今年も開催
地域が新たに
増え、地域の
方々や福祉
関係者の方
など多数の参
加があり、声
掛けの仕方・
連絡の方法
など体験し
ました。

様々な機関
との連携が重
要であると改
めて認識し、
今後も認知
症の方が安心
して生活でき
る町づくりを
目指し、この
活動を継続
していきたい
と思います。



美郷地区



石合地区



下川崎地区



地域交流芋煮会

グループホーム
フクチャランチ



10月18日に地域交流芋煮会を開催致しました。
地域の方や他事業所の利用者様を含め約百名お集まり下さいました。
まほろばマジック研究会様などの余興を見せて頂きながら、職員手作りの豚汁や焼きそばを頂きました。ボランティアの皆様の御協力もあり、無事成功致しました。ありがとうございました。



デイサービスでは、運動会行事がありました。
いざ競技が始まると、お隣の方と協力したり、同じチーム同士を元気に応援したりしていました。
パン食い競争では、職員の応援もあり、利用者様は一生懸命行っていました。

ロングライフ デイサービスセンター



10月4日に、みその幼稚園の年少組の皆様が、ライフ吉井田へ遊びに来てくれました。
かわいい踊りや歌を披露してくれました。
利用者様達も、園児の元気な姿を見て、元気を貰い、楽しい日を過ごすことができました。

ライフ吉井田
看護小規模多機能型居宅介護事業所

言語聴覚士とは？ どんな仕事？

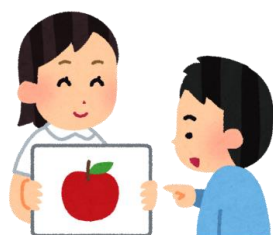
ST(言語聴覚士)とは、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)に並ぶリハビリの専門職です。リハビリの内容は多岐に渡ります。

ロング・ライフにおいては主に摂食、嚥下のリハビリを行っています。具体的に行っている内容として、飲み込むための運動をしやすい内容として、喉の奥、首の周り、舌のトレーニングや、食べ物が気管に入ってしまった時に咳込んで気管から出すための呼吸訓練などがあります。

しかし言語聴覚士が行なえるリハビリは他にもたくさんあります。脳の話すための場所が障害されておこる「失語症」、筋肉や神経の問題で上手く話すことがなくなる「運動障害性構音障害」、喉の疾患や悪い使い方が原因で声がだしくなる「音声障害」、精神的なストレスが原因で話せなくなる「心因性失声」、といった疾患に対して、話すことのリハビリも行います。

他にも聞こえの問題、子供の発達に関する問題、高次脳機能障害、吃音症、様々な場所で言語聴覚士は活躍しています。

皆様が健康で元気な生活をおくるために協力させていただきたいと思えます。声のこと、話すこと、食べること、他にも何か気になることがあります。是非、圓谷まで何でもご相談ください。



新入職員紹介 平成27年8月以降に入社された方です。(順不同)



一日も早く仕事を覚えて、皆様のお役に立ちたいと思います。宜しくお願い致します。

氏名：吉田 多加江
所属：ロング・ライフ事務
資格：簿記1級



社会人としてのマナーや相談援助、技術を身に付け、利用者様との信頼関係が築けるよう頑張ります。

氏名：佐藤 崇士
所属：ライフ吉井田居宅介護支援事業所
資格：介護支援専門員



利用者様が安心して過ごせるよう頑張っています。よろしくお願いします。

氏名：田森 松子
所属：ライフ吉井田看護小規模
資格：介護福祉士

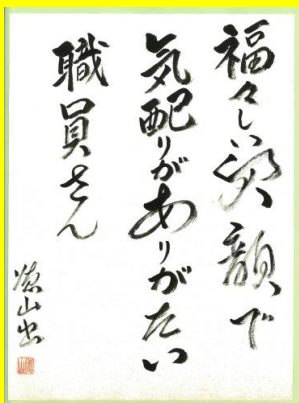


言語聴覚士として様々なリハビリを通じて、皆様の元気な生活の力になりたいです。

氏名：圓谷 祥
所属：ロング・ライフ
資格：言語聴覚士

利用者様の作品

菅野 徳雄様

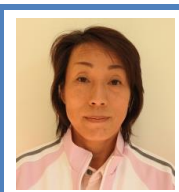


これからよろしく
お願い致します



今回は初めてですが、これから一生懸命頑張ります。宜しくお願い致します。

氏名：赤石澤 照彦
所属：ロングライフサービス
資格：普通自動車運転免許



介護の仕事では新人です。少しでも早く皆様の役にたてるように勉強していきます。

氏名：香野 多美子
所属：ロング・ライフ
資格：介護職員初任者研修



この度、平成28年8月31日福島市消防本部にて授賞式が開催されました。
「応急手当の普及啓発」を積極的に推進した功績が認められ、福島市消防長より、表彰状と盾を授与されました。
当法人では、全職員が救命救急の講習会を受講し、適切な心肺蘇生やAEDの使い方などを学んでいます。救命・応急手当は、とっさにできるものではありませんので実技を体験することにより理解を深めています。
今後も高齢者福祉施設の職員として、地域の一員として、救命・応急手当の知識と技術の向上を目指していきます。

応急手当の
普及啓発について

最近、日本や世界でも大きい地震がおきています。忘れた頃にやってくる地震ですから、日頃からの訓練が大切になってきます。地震が来たときの避難訓練や災害時の食料、懐中電灯などの準備の確認が大切です。いつ来るかわからない災害に備えていきましょう。

広報委員長

編集後記



今後、施設の「自衛消防組織」の認識を基に、職員の消火技術の向上と防火意識を高められるよう日々の訓練にも力を注いでいきます。



平成28年10月4日福島市消防訓練センターにおいて、消火器や屋内消火栓を使用して消火技術を競う「第13回福島市自衛消防隊消火技術競技大会」が行われました。

第13回福島市自衛消防隊
消火技術競技大会